

2学期が始まり、あっという間に10月を迎えました。一年の園生活の中でも充実期となる2学期を過ごす子どもたちは、体を十分に動かして遊び、自然・社会と関わっていきます。直接体験する中で心動かされるもの・こと・人と出会い、体験がより広がり、心が豊かになるよう活動を展開していきたいと思えます。

園庭の遊具が生まれ変わりました

幼稚園の園庭には、体を動かして遊びながら運動機能を高めることができるように、自分なりの目標をもって挑戦し、やり遂げた喜びを味わえるようにと、様々な固定遊具が配置されています。

今年は、創立100周年記念事業の一つとして、遊具を塗り替えていただきました。また、子どもたちが安全に遊べるように一部補修も行いました。塗装するにあたり、子どもたちが意欲的に固定遊具で遊べるように配色を工夫しました。例えば、ジャングルジムやのぼり棒等は「黄色までできたから、次は赤までやってみよう！」と積極的に取り組めるように色を3色に塗りました。総合ジムは、階段の場所を黄緑色で統一し、3歳児にとって危険と思われる箇所は「オレンジ」で示し、子どもたちと共通理解しました。子どもたちはリニューアルした遊具にかかわり、自分の力を試しながら全身で遊んでいます。



「赤までのぼれたよ」



「絶対にとんでみせる！」



「かてて」「いいよ」



「こんなこともできるよ」

ししまいの魅力

新町獅子保存会の皆様が初舞いを披露してくださいました。獅子が怖くて先生にしがみつく子ども、びっくりして泣き出す子ども、興味津々でじっくり見ている子どもの姿がありました。その後、園所蔵の獅子頭が出されると、年長児は早速獅子舞いを再現し始めました。年中児や年少児は、空き箱やビニール袋で獅子を作り、「カッカッ」と音を鳴らして、園内を巡りました。年長児の中には、自作の獅子をより本物らしいものにしよう改良を重ねる子どももいました。1ヶ月経った現在も、幼稚園の獅子は毎日現れ、出会う人の頭を噛んでくれます。



月見団子、おいしかったね

9月半ば、「昨日お月様見た？」と尋ねると「丸くなかった」「でも少し大きくなった」との言葉が返って来ました。今年の「中秋の名月」は9月24日でした。季節に応じた食体験をさせたいと思い、月見団子を作りました。4歳児も組では、団子を分けた後の皿に残ったタレも全て食べつくしました。また、「うちでも食べるから、お母さんに（作り方を）教えておいて」と話す姿もありました。5歳児ふじ組に月見団子を運ぶと、団子の周りに集まっては、大きさを比べながら「これは私のかな」と、大きめのサイズを指す姿がありました。職員室の外には、前週より布と綿で作られた月見団子が飾られていましたが、この日は誰が食べさせたのか、獅子も月見団子をくわえていました。自分の団子を味わった経験を獅子にもさせてあげたのでしょね。その後、「お家でもお月見したよ」との報告を受け、ご家庭でも経験をつないでくださったことを嬉しく思いました。



100歳の誕生日を祝う気持ちが込められた運動会

今年は台風接近により1週間延期となったため、子どもたちにとっては待ちに待った運動会となりました。各クラスの種目には、幼稚園が100歳の誕生日を迎えることを祝う気持ちが込められていました。ふじ組の和太鼓には紅白幕が施され、表現では全員で幼稚園を作りました。もも組のすず割りはハプニングを乗り越えて無事メッセージが現れました。たんぼぼ組の技走では誕生ケーキが出来上がっていききました。保護者の団競では、花文字「おめでとう」が完成し、雰囲気盛り上げていただきました。開催にあたり心配し励ましてくださった皆様、準備・片づけに協力してくださった保護者の皆様、ありがとうございました。



「準備体操をしよう」



「一新太鼓、そーれ」



「誕生ケーキを作りましょう」



「すずわり、大成功！」

年長児は三角遠足でいろいろと体験しました

ふじ組は、熊本駅から電車に乗って三角駅まで出かけました。駅では、一人一枚切符をもって改札口を通る体験をしました。電車に乗ると、駅名を確かめながら各駅を通過し、海沿いを走ると車窓からの風景を楽しみ、トンネルを通過して目的地に着きました。展望台の上って海の風景の美しさや風を感じました。付近の物産館では、おいしい三角みかんをデザートにと購入しました。その後、電車体験を絵で表現して楽しみました。最近では段ボールで電車を作ったり切符を作ったりと、経験したことを様々な方法で遊びに展開しています。



いも掘り！今年も大収穫でした

毎年お世話になっている山本さんの畑に今年も芋ほりに行きました。今年は、バスの中で「芋の掘り方」をみんな確認していきました。芋畑に着き、山本さんの話を聞いた後、広い畑に入っていきました。初めは、用心して掘り始めた子どもたちでしたが、芋が見え始めると周りの土を次々と取り除いていきました。子どもたちは、たくさん芋がつながっている様子、芋の大きさ、重さ等、驚いたことや気づいたことを誰かに伝えたくて「見て～」と大きな声で周りの友達や先生を呼ぶ姿がありました。年長児は、収穫した芋をトラックまで運ぶところまで頑張りました。最後まで自分の力で運んだり、友達と一緒に運んだりするふじ組の姿をたくましく思いました。今年のお芋の味はいかがでしょうか。



「重たいなあ～」

西山中学校家庭科へのご協力、ありがとうございました ～母子交流会の様子～

当日、未就園児保護者の方々が中学生（3年生）の質問に丁寧に答えてくださいました。会の終わりには、中学生より「授業では聞けない話を聞くことができたくさん学ぶことができました」との感想が寄せられ、参加された方から中学生へは、「子どもに癒されるのがたくさんあります。」「感謝してもらうために子育てをしているのではなく、幸せにしたいと思って生活しています。」等、伝えてくださいました。

中学生にとって、充実した授業となったようです。お世話になりました。

